

ワグネル・ ソサイエティー・ OBオーケストラ

第 72 回
定期演奏会

指揮：**金 洪才**

Kim Hong Je, Conductor

曲目：
シャブリエ／狂詩曲「スペイン」
ドビュッシー／小組曲
フランク／交響曲 ニ短調

2012年 7月16日(月・祝)

14時00分
(開場13時20分)

横浜みなとみらいホール
大ホール

(みなとみらい線みなとみらい駅徒歩3分/JR根岸線桜木町駅約12分)※裏面、案内図参照

全席指定 ¥2,000 (一部、当日指定) *当日指定券引き換え開始 12時
チケット扱い：横浜みなとみらいホールチケットセンター TEL: 045-682-2000
(電話10:00~18:00 窓口10:00~19:00 不定休)

電子チケットのみ TEL 0570-02-9999 (Fコード: 168-251)

お問合せ先：演奏会マネージャー 柴田 隆 TEL: 03-3334-2665

※就学前のお子様の客席へのご入場はご遠慮いただいております。なお、ホールにて、生後6ヶ月から学童までのお子様を対象とした託児サービスが受けられます(事前予約制/有料)。ご希望されるお客様は、(株)アンティー (電話: 045-423-2431) に詳細ご確認の上、直接ご予約ください。

・ PROFILE ・

ワグネル・ソサイエティー・OB オーケストラ



“慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ”の卒業生が中心となって1974年に設立、同年冬に第1回演奏会を開催して以来、毎年1～2回の演奏会を行い、2006年8月に第60回記念定期演奏会を行った。レパートリーは古典から近現代音楽まで幅広く網羅している。

設立当初は長年にわたって慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラの常任指揮者を務めた東京藝術大学名誉教授、故・中山富士雄氏の薫陶を受けたが、その後は常任指揮者をおかず、演奏会ごとに様々な指揮者の指導のもとに活動をしている。これまで定期演奏会では中山富士雄、團伊玖磨、山本七

雄、ロバート・ライカー、朝比奈千足、斎藤純一郎、飯森範親、三原明人、藤崎凡、新田ユリ、飛永信康、新通英洋、鈴木清三、中川賢一、矢崎彦太郎、大塚正昭、川本貢司、田久保裕一、横島勝人、武藤英明、小泉和裕、山田和樹、角田鋼亮、本名徹次、寺岡清高、井崎正浩、松尾葉子、飯守泰次郎、大山平一郎の各氏に指揮をお願いした(初出演年順)。

定期演奏会の他にも他合唱団体との特別演奏会、(社)日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)の加盟団体として連盟主催行事への有志参加など、意欲的な演奏活動を続けている。

WSOホームページ：

<http://www.wagner-ob.jp/>
(第71回までの演奏会の記録もこちらよりご覧いただけます)

金 洪才 (指揮)



1978年、東京シティ・フィル特別演奏会でデビュー。79年、東京国際指揮コンクールで第2位と、初めての特別賞(齋藤秀雄賞)を受賞。テレビ番組「オーケストラがやってきた」、「私の音楽会」の専属指揮者に選ばれる。東京シティ・フィル、名古屋フィル、京都市響、広島交響楽団の指揮者を歴任の傍ら、読響、東京都響、新日フィルをはじめ全国の主要オーケストラに客演。89年よりベルリンにおいて作曲家、尹伊桑(ユン・イサン)氏の下で研鑽を積む。92年9月には、ニューヨーク・コリアン交響楽団を指揮し、カーネギーホールでアメリカデビューを果たし大成功を収めた。2000年10月、ソウルで開かれたアジア欧州

会議(ASEM)の祝賀公演に招かれて韓国KBS交響楽団を指揮。以後、同オーケストラに度々招かれるほか、韓国交響楽団定期演奏会にも出演。04年10月、文化庁舞台芸術国際フェスティバル公演として、ソウル・フィルハーモニック管弦楽団来日公演を指揮、続くソウル公演にも客演する。オペラでは01年10月に韓国《芸術の殿堂・オペラハウス》でヴェルディ「仮面舞踏会」を5夜連続公演し大成功を収めた。03年9月にはひろしまオペラ推進委員会主催による日韓提携公演ブッチーニ「蝶々夫人」を指揮、この分野でも着実にキャリアを重ねている。

平成10年度、渡邊暁雄音楽賞受賞。

会場までのご案内

●みなとみらい駅(東急東横線直通みなとみらい線)下車、
「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分

●桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)
下車、徒歩約12分

横浜みなとみらいホール
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい
2-3-6 TEL: 045-682-2020
<http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php>

